



奈良・人と自然の会

＜わたしたちは大和の自然を愛します＞

菜の花エコプロジェクト

豊島 すみ子

「菜の花エコプロジェクト」は、「菜の花」を栽培し、収穫した種から油をしぼり、学校給食や一般家庭で食用油として使用したあとの廃食油をバイオディーゼル燃料（BDF）に精製し、ディーゼル車の燃料として使用、また搾った後の油粕は飼料や堆肥として再利用するという地域の資源循環型モデルです。

平成10年、滋賀県東近江市（旧愛東町）から始まったこの「菜の花エコプロジェクト」は地域の自立を目指して、全国41道府県、約140の団体に広がっています。

奈良県内でも遊休地や休耕田などに菜の花を栽培しているところが増えてきています。

私が所属している生協でも昨年は、生駒市西畑町の棚田で地元の棚田を守る会やいこま棚田クラブのみなさんと菜の花を植え、菜の花祭りを楽しみ、脱穀した菜種約100キログラムから36リットルの菜種油を搾りました。

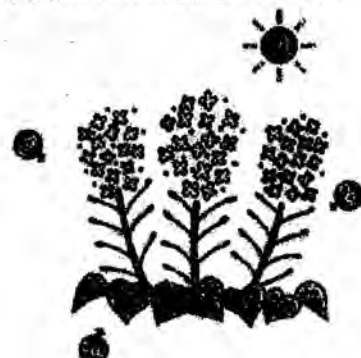
環境のイベントなどで手動式で菜種油を搾る体験をしていると多くの方たちが「昔は菜の花を植えていて灯心に利用したよ」とか「油屋さんに種を持って行って菜種油と交換したよ」と声をかけてくれました。自分たちで植えた菜の花を利用していた暮らしがまだ記憶のなかに残っています。自分たちの手に届く範囲に暮らしのすべてがあった時代、小さな地域の循環の中で暮らしが成り立っていた時代がそんなに昔ではなく存在したのですね。

大量生産、大量廃棄の中で、消費が美德とされ、より簡便な暮らしが望まれ、世界中の食料が季節にかかわらず簡単に手に入るようになり、食料の自給率は40%を切ってしまいました。それとともに農家は高齢化が進み、葛やセイタカアワダチソウばかりが目立つ遊休地や休耕田が増え続けています。

ほんの数10年前、大和の春はどこを向いても菜の花が満開で、俳句や小説にもその風景が多く登場していました。大和の国にもう一度その原風景をとりもどせたら素敵だと思いませんか。

満開の菜の花をみると元気が出てきます。気持ちが明るくなります。菜の花を育てることで、農村の暮らしにふれ、残していかななくてはいけないこと、大切にしたい暮らし方を考えてみたいと思っています。

今年、「ならやま里山林プロジェクト」でも畑の一部に菜の花を植えました。来年4月には満開の菜の花を楽しみたいと思います。



オブション企画

世界遺産： 熊野古道を訪ねる ・ 中辺路コース

活動報告

・ 11月19日（月） 天候 快晴 日中の気温 15度

・ 参加者 32名（内男性13名、女性19名） 担当幹事 弓場、大石、古川

奈良県外の場所を選んだ今回の特別企画には、予定を上回る32名の参加があり、女性が6割を占めたことで、賑やかで華やいだ観察行となる。幸い連日の快晴に、晩秋の熊野古道は最高の表情で我々を迎えてくれた。

近鉄八木駅より大型バスで8:40出発、中辺路コース出発点、滝尻王子の熊野古道館で昼食。ボランティア・ガイドの伊藤幸子さん（自然1期）と合流して、滝尻王子及び熊野古道の全般的なガイダンスを受ける。

第一日は近露王子から継桜王子までの行程。人気スポット牛馬童子から近露の里へ。美しく装った雑木林の山を遠景に、良く整備された路が杉桧の林や集落を縫いながら長い登りが続く。比曽原王子でガイドの伊藤さんと別れ、野中の一方杉、秀衡ゆかりの継桜王子を経てゴール野中の清水へ。歩行時間2時間30分、4.5キロ。短いながらアップダウンの多いコースに、程良い疲れを感じつつバスで川湯温泉へ。

川湯の名物「仙人風呂」は、大塔川を対岸まで仕切った豪快な露天風呂。たそがれの川原で温泉に浸りながら、山に懸かる半月を眺めて疲れをほぐす。夕食会は川井会長以下、のど自慢の面々のカラオケで大いに盛り上がる。

11月20日（火）天候 快晴 気温 16度

バスで発心門王子へ。ここから熊野本宮大社までは古道の雰囲気の色濃く残るコース。寺田、高橋、西谷、小田の各氏に観察指導をお願いして、9:15スタート。

木立を吹き抜ける初冬の風が汗ばんだ体に心地よい。手入れされた杉林は林床が明るく、シダ類が一面に覆う。杉の濃い緑とシダの浅い緑とのコントラストが美しい。道端には、アサマリンドウ、キッコウハグマ、ノハラアザミの可憐な花々。ほかにも、カンアオイ類、サジガクビソウ、ミヤマママコナ、ツルコウジ、アリドウシ、カリガネソウ、リュウキュウマメガキなど。

水呑王子から果無山脈の山並みを眺めて、伏拝王子から小辺路と交わる三軒茶屋跡へ。「右 かうや 左 きみい寺」の石の道標、ここから九鬼関所跡を抜けると、苔むした石畳の登り道が迫る。古人の祈りの旅に思いを馳せながら黙々と歩く。

ゴールの熊野本宮大社着12:00。有名な3本足の八咫鳥の社紋の門、本殿には4柱の神が祀られている。参拝後、昼食。

13:30バスで帰途につく。17:30近鉄八木駅着。会長の挨拶で散会。

（今回は、川井さんの俳句グループの参加があり、懇親の輪が広がった）

（古川祐司 記）

熊野古道の句

月影に身を沈めたり宿あかり

川井秀夫

玄冬の川湯の浜や月下浴

有本倍美

遠山の乙女の寝顔冬日燦

土居通子

まっすぐにまっすぐに杉冬の空

神田小夜子



10月例会「海住山寺と古の都、恭仁京を訪ねて」(再開催)

実施日：10月27日(土) 天候：小雨

参加者：7名(有本、大石、川井、齋藤、林、守口、吉村)

担当：大石、林、守口

小雨にもめげず集合した7名は元気よく加茂駅をスタート。古い民家や酒蔵の並ぶ情緒あふれる加茂の町並みを歩くとやがて木津川にかかる恭仁大橋を渡った。この川は昔は泉川と呼ばれ、このあたりには加茂の港、そして前方は瓶原とその美しさを和歌に詠まれ、多くの旅人が行き交った所だ。例幣使料を示す石碑を見て、稲刈りの終わったのどかな野道を登り、さらに山道を登ると海住山寺に着いた。昼食休憩の後、国宝の五重の塔と、ちょうど特別公開されていた塔の中の金の小塔と四天王を見せてもらい、さらには重文の十一面観音像、額縁の絵のような庭園など寺内の各所を思い思いに見学、散策し、初秋の山寺の美しさを満喫した。下り道は雑木林の中の落ち葉の降り積もったふかふかの道、いっぱい落ちているコナラのどんぐりを踏まないよう気をつけて歩いた。デレーケ堰堤では川の中の古い石積み、大井手では台地を流れる灌漑水路を見学し、昔の偉人の業績に感謝しつつコスモスやソバを見ながら恭仁京跡へと下って行った。そこは聖武天皇が4年間ほど都づくりをした所だが、この日ばかりは「加茂まつり」の会場になっていてたくさんのテントが立ち並び、いろいろのお店が出ていた。栗や豆やギンナン、ザクロなど山の幸を買い求めリュックを一杯にして、帰路に着いた。秋の自然の中で、歴史に触れたよい一日だった。(守口 京子)

自然俳句欄

初しぐれ弥陀の鎮もる堂庇 川井 秀夫

10月例会。海住山寺・恭仁京を訪ねる。秋色の濃淡に
国宝 三重塔が存在感を演出する。小雨も風情のうちか。

森林林業体験学習事業の参加者の作文と絵

11月3日にくろかみやまキャンプフィールドで行いました、「森林林業体験学習事業」の参加者から作文と絵をいただきました。作文はボーイスカウト奈良第17団のカブ隊の山本君、絵はビーバー隊の徳網姉弟です。絵については楽しかった様子がよくかかれています。（境 寛）

「里山体けん」 ならだい十七だんカブスカウト 山本 光祐（こうすけ）

十一月三日土曜日、黒かみ山キャンプフィールドの里山体けんに行きました。

はじめ、ちゅう車じょうで、みんなをまっていた時に、アケビと言うくだものを食べました。かたいかわの中に白いみと黒い小さなタネがいっぱいあって「食べられるのかな。」と思いましたが、あじは、なしみたいでおいしかったです。

そして、竹林に入って、のこぎりで竹を切らせてもらいました。えだは、れんしゅうしたら一かいで切れるようになりましたが、生えている竹を切るのは、大変でした。

それから切った竹でコップを作りました。スコップは、ちょっとむずかしいので作ってもらって、やすりをかけました。

さいごにそのスコップをつかって、おいもをほりました。学校のいもより十ばいくらい大きなおいもがたくさんとれました。竹を切って作ったわなげであそんだり、やきいもを食べたりして、おもしろかったです。

<とくあみ なおさん>



<とくあみ よしきくん>





川井 秀夫

11月10日。定例会。飛鳥地方は「まほろば」発祥の地として夙に有名であり、近時では、高松塚の保存修理、キトラ古墳の壁画、新亀石の発掘、入鹿の邸宅跡調査と古代ロマンの話題が尽きない。

今日は一般的な観光ルートを避け、飛鳥びとのルーツとも言える飛鳥川の源流である栢森地区を訪ねる。

ご案内役に嶋村 清隆さんをお迎えし、畑地の一角にある作業小屋で一杯のコーヒーを御馳走になりながら飛鳥の今昔話を伺う。

嶋村さんは、ある時訪れた学識者の話に触発され源流の自然保護に取り組み、ボランティアの協力を得て、清流の整備、淵叢の間伐、古社の保存とご老体にムチ打ち、頑張っておられる由、その姿勢に頭が下がる。

この地の活動には、今日の幹事役 豊島すみ子氏もメンバーとして参加され、当会の監査役 有本 倍美氏も関与されている。書家である有本氏の真筆である掛け軸の「飛鳥」の一字をわざわざご披露を受け、水神の社に対する敬虔な思いが伝わってくる。

(この字は「オカミ」と読み、近くのお社の石碑に刻まれている)

足を延ばして、活動の場である女淵の滝周辺を見学。かつて棚田であった山肌が針葉樹に覆われ、今昔の変貌に慨嘆しきりであった。

仰げば山峽の高所に集落が散在し、何故こんな所に人が住むのか、考えて見れば縄文期の狩猟民族の後裔なのかも知れない。古代飛鳥の原点を見る思いであった。

帰路は推古天皇 禊の滝、宇須多岐比売命神社の百五十段の参道を登り、他村から邪気・悪霊の侵入を防ぐ男縄・女縄の勧請縄掛けの場を見て、遺隋使 南淵 請安の墓、飛鳥川の飛び石を渡り秋の日が傾く頃、石舞台へと急ぐ。

今日は多くの懐かしい方々とも再会し、飛鳥ロマンの琴線に触れ、再発見の一日であった。嶋村さんのますますのご活躍を、皆さん共々祈念したいと思います。

拙句を一つ

かけら

奥飛鳥秋の欠片を拾ひゆく 秀夫

〈11月例会報告〉

奥飛鳥を訪ねて

豊島すみ子

11月10日（土）9：35～14：30 天候：曇り、前日から雨が心配されましたがまずまずの行楽日和となりました。

参加者：17名（山田、志水、斎藤、勝田緑、吉村、勝田均、林、豊田、永井、市村勝、守口、市村米、野田、宮澤、弓場（下見）担当：川井、豊島）

飛鳥駅からカメバスに乗って福祉センターで乗り換え、飛鳥村内を廻りながら10時過ぎに栢森^{かやのもり}へ到着しました。栢森の元総代、嶋村 清隆氏が主宰している「森の手作り塾」の拠点に立ち寄り、嶋村氏から歓迎のごあいさつと奥飛鳥の魅力、ボランティアで周辺の整備を続けているお話などをお聞きしました。温かいコーヒーをふるまわれ、自己紹介の後、栢森の集落を通り「加夜奈留美命神社^{かすなるとみのみことじんじや}」へ向かいました。加夜奈留美命神社の祭神は大国主命の娘、下照比売と言われていました。この神社は地元の人たちから「葛神さん」と呼ばれ、水の神様として祭られています。そこから飛鳥川をさかのぼり「女淵」へ向かいました。女淵周辺は嶋村さんたちが「飛鳥川原風景を取り戻す仲間の会」として10年近く整備を続けており、この場所で皇極天皇が雨乞いをしたと伝えられています。

清らかな水が静かに流れる女淵から、来た道を引き返し、芋峠に続く道の途中にある「ごろの滝」を見学しました。この滝は昔、持統天皇が吉野へ行幸されたときに禊をされた所で、地元の人たちはここでお正月の若水を汲んだのだそうです。

奥飛鳥栢森の風情を楽しみながら昼食をゆっくりいただき、「女綱」から「飛鳥川上坐字須多伎比売命神社^{かわかみにいまずうすたきひめのみことじんじや}」へ向かいました。この神社の祭神は大国主命の奥さんのひとり、多紀理比売（下照比売のお母さん）だと言われています。背後の山が御神体で杉の巨木に囲まれて拝殿が建っており、栢森、入谷、稲淵、畑の4地区でお守りしています。

大化の改新の歴史に登場する南淵請安のお墓を訪ね、飛鳥川にかかる石橋「飛び石」を渡って万葉の昔をしのび、稲淵の「男綱」と「棚田の風景」を見ながら、奥飛鳥を訪ねる旅を終了しました。

「おつなかけ」の神事を始め古代の信仰が今も残る奥飛鳥「神奈備^{かんなび}の里」をぜひまたお訪ねください。

社会貢献事業参加報告

環境フェア「みんなでとめよう温暖化」主催：奈良県環境県民フォーラム

10月27日（土）場所：奈良県橿原公苑第一体育館

奈良県で最も大きな環境行事です。「奈良・人と自然の会」は本年も下記の5名で参加しました。本会の活動紹介のパネル2枚と自然工作指導で大変好評でした。今回は「食と農のフェスティバル」「大和の特産・うまいもの市」も同時に周辺で開催され、盛況でした。

参加スタッフ：樋口、竹本(非会員)、境、岩田利、小嶺

(小嶺)

(まちなか地域) 市民ふれあい交流事業

11月18日(日)、近鉄高の原駅前にこの春オープンした「高の原サティ、2F 平安広場」にて木工教室の要請を受け協力参加した。奈良市・奈良県の主催で、地域の農産物などの振興、里山・森林の重要性を訴える企画でした。地域の農産物は、16日から19日まで開催され(現品販売)、その中のイベントのひとつではありますが、日曜日という一番の重要な日の催事でした。当日は、「精華祭り」が近くの「けいはんなプラザ」を中心として実施されているので、果たしてどのくらいの方が参加していただけるか心配していましたが、64名プラス付き添いの両親で100名ほどの参加でした。会場は、ほどほどの込み具合で、あまり待たしたりせずに行進した。「ただいま満席」のことも数回あった。受付進行を担当された奈良県の方は、「混まなくて良かった、参加者はみなとても熱心でよかった」と話されていました。自然工作を屋内の不特定多数を相手にする とう催しで、事前にあれこれと心配することが多かったのですが、小嶺さんほか10名のスタッフでしたから、行き届いた指導ができたと自負しています。ご多忙の中ご指導して下さいました各位に感謝します。事前の準備では、もう少し濃い内容で実施するべく企画していたのですが、買い物の道すがらの皆さんでは、無理と当日判断、小枝や、どんぐり、竹笛などで、時間がいっぱいになっていました。野外活動センターや運動場など一日楽しみに来る方を対称にするのと、フリーの買い物に来た人を対象にする難しさを感じました。(阿部和生)

とりシリーズ あっ!! 鳥 「アトリ」

小田 久美子

頭のとがったスズメより僅かに大きい鳥で、日本には冬鳥としてシベリヤから渡って来ます。いつも群れで行動し、時にはその数数万、数十万の大群が空を覆いニュースになる鳥です。

黒っぽい羽にオレンジ色と白色の入り混じったカラフルな美しい姿をしています。

枯れ枝に鈴なりに止まった時、まるで花が咲いたようでそんなところから「花鶏」と書くのでしょうか。10年程前、鳥取にこの群れを観に行こうと誘われました。頭の上を舞う大群をウォッチングした後、車をウンチのお土産だらけにされて喜んで(?)いた鳥友がいました。普通の人には理解不能ですね。山地の木の实を食べつくす大寒の頃になると、低地の林や農耕地に移って来ます。カエデ・アキニレ・草の種・落穂などの実が大好きですから、私たちの身近でも眩きながら皆んなで採餌していたりします。スズメだと思わず気をつけて観て下さい。



ちいさな鳥

★11月16日 ガレージの欄にジョウビタキのオスがとまっていた。あまり逃げようともせず、きれいな茶色を見せていました。(阿部)

★11月15日香具山近くの高所寺池で午後3時頃コハクチョウの成鳥2羽 幼鳥1羽が泳いでいました。この池でコハクチョウを見るのは初めてで驚いています。池の土手から水辺に降りるコンクリートの階段の上から3段目にカワセミが更に3段下にコチドリが2羽並んでいました。(齋藤)

★(斑鳩より)11月8日から3日間カワアイサ2羽が竜田川にいました。初見 (勝田)



原則 前日の午後7時前のNHK天気予報で降水確率(午前)60%以上の場合は中止

【奈良忍辱山森林整備作業】

(場 所) 奈良市忍辱町、国有林の二次林(忍辱山円成寺駐車場)より徒歩10分

(集合場所) 国道369号線 忍辱山円成寺駐車場

(奈良交通バス停 円成寺口と忍辱山円成寺の間)

(日 時) 12月13日(木)、20年1月15日(火)。

【集合時間10:20。終了予定Pm2:45ころ】

(天 候) NHK天気予報 (前日PM7時前)60%以上中止します。

(交 通) 奈良交通バス 近鉄奈良駅前バス乗り場④番 9:40 柳生・月ヶ瀬温泉行き

(持ち物) 作業のできる服装、昼食、飲み物、手袋、

各種用具は、準備していますが、お手持ちのものあれば持参ください。

作業のしやすい季節です。ご参加お待ちしております!!

(連絡先)

明石嘉一郎(

阿部和生

作業報告…11月15日 気温10度 快晴 参加8名。 小春日和の気持ちのいい作業日。

初参加の「板橋さん」を含め8名、二人ずつのペアを組み、寺田さんから「安全について」のお話の後、木漏れ日の中を境界の谷まで降りて作業した。昼食時には、弓場さん特製のスープに舌鼓を打ち 力をつけた。枯死木のかたつけや常緑樹の伐採など、この時期は作業の進捗状況が良くわかり楽しい。PM3時前修了、帰途 先回作った「ベンチ」を補強し終了した。

『ならやま里山林プロジェクト12月の予定』

場所：奈良市奈良坂町・佐紀町の県有林(JR平城山駅下車徒歩10分)

—「ならやま会館」前の道路(ならやま大通り)の南側に広がる林地—

定例活動

日時：12月15日(土) 10時集合、終了予定 3時

【雨天等による中止の場合 予備日 12月20日(木)】

集合：現地ベースキャンプ地

交通：①近鉄奈良駅 バス13乗場9:36発 高の原行

②近鉄高の原駅 バス1番乗場9:38発 JR奈良行

①、②とも佐保台西口、または平城大橋下車 徒歩約7分

行事：竹林間伐(B地区) 里山整備(C地区)

畑作業

作業終了後 1時より懇親会(イモ煮会とバーベキュー)

懇親会：・イモ煮会は、豊島副会長を中心に手配をお願いしております。*

鍋の中から何が出て来るのでしょうか、お楽しみに。

・バーベキューは、参加者がお好みの食材(一品)をお持ち寄り下さい。

・当日はアルコールが出ますので、マイカー厳禁といたします。何卒

ご協力下さいますようお願い致します。

(問合せ先 古川

小嶺

12月度例会と忘年会

古代豪族平群氏の里へ

ー業平ロマンの道、悲劇の長屋の王墓を訪ねるー

古代王朝時代、天皇家と肩を並べた大豪族「平群氏」の本拠地平群町を訪ねます。
なだらかな丘陵地で多くの史跡を巡るゆったりしたコースです。

その後忘年会がありますので、奮ってご参加下さい。

尚、史跡の案内は地元観光ボランティアの松井澄氏にお願いしています。

日 時：12月10日（月）午前9時30分 *雨天決行

集合場所：近鉄生駒線 竜田川駅前（平群町）

交 通：★大和西大寺8時20分発→難波行（生駒乗換）9時王寺行き竜田川
9時20分着 近鉄鶴橋8時30分発生駒乗換

★JR天王寺 王寺乗換生駒線

コ ー ス：竜田川駅—烏土塚古墳—柿塚古墳—石床神社—消渴神社—西宮古墳—
平群神社—吉備内親王・長屋王墓—三里古墳

道の駅「くまがしステーション」 2階にて忘年会（終了予定時間6時）

会 費：男性2500円 女性2000円

予約が必要です。（12月3日締め切り） 担当まで。

担当： 勝田：

小嶺：

<1月の予定>

平成20年度

新春講演会

1 日 時 平成20年 1月 20日（日）

AM 10:00～ PM 3:00

2 場 所 「奈良公園」その周辺

3 テーマ 「奈良公園の埴生」 遷移と鹿害の視点から

4 集 合 近鉄 奈良駅 行基菩薩像前 AM 10:00

当番幹事 川井 秀夫

林 令子

三木 正明

◆ 詳細は新年号にてご案内致します。

12月「社会貢献事業」のお知らせ（11月号訂正分）
地域の子供達への「森林体験学習」

場所：奈良市針

日時：12月2日（日） 10:00～14:30

担当：小嶺 敏勝

*下線部を訂正します。

協力活動「いこま棚田クラブ」12月活動日 ご案内

活動日…12・2(日)、12・10(月)、12・16(日)、12・24(月)

12・2日 生駒市子ども会リーダー研修会。

大阪市東都島小学校エコクラブ

12月24日 生駒市より受託 「西畑向かい山」の間伐整備を実施。

(里山整備 初めての方も歓迎・要具準備しています)

集合場所：近鉄生駒駅下車 南口側ケーブル駅西隣セブンイレブン前

集合時間： 9時 現地までタクシー他分乗で移動。

持ち物： 飲み物、弁当、 作業スタイル

事務局： 大寺道代

平成19年11月度幹事会議事録

日時：11月6日(火) 17:30～20:30 場所：奈良県女性センター

出席者：14名

司会：守口

記録：豊島

[報告事項]

(1) 会員数 94名 現金残高 156,009円(11/6現在)

(2) 10月度例会「近つ飛鳥と叡福寺を訪ねて」10/16(火)17名参加

(3) オプション企画「海住山寺と恭仁京を訪ねて」10/27(土)7名参加

(4) 環境フェア10/27(土)5名参加、ドングリ工作を行い参加者に好評だった。

(5) 奈良・忍辱山森林整備作業10/18(木)7名参加、ベンチを作成し道端に設置した。

(6) ならやま里山林プロジェクト イモ掘り大会10/14(水)30数名

奈良県環境森林事業11/3(土)親子17名参加、植物観察、竹伐り、竹のスコップ作り、イモ掘りなど体験。苗や肥料などの費用について、今後の山竹林の整備について検討した。

(7) 「いこま棚田クラブ」定例会4回、近畿大学竹林間伐体験、朝日ネイチャー教室開催

[確認事項]

(1) 「熊野古道を訪ねる」11/19～11/20 30名参加予定

(2) 「市民ふれあい交流事業」11/18(日)10:00～14:30 近鉄高の原サティ2階特設広場 9名参加 ドングリ工作実施予定 「黒髪山自然塾」11/25(日)12:30～14:30 ドングリでアート 5名参加予定 「地域の子供たちの森林体験教室」12/2(日)10:00～14:30 奈良市都祁村

(3) 11月～1月定例行事確認 「奥飛鳥を訪ねて」11/10(土)「古代豪族平群氏の里へ」12/10(月)終了後忘年会開催のため要申し込み。新春観察会1/20(日)場所：春日大社周辺、講師：森本範正氏元天理高校生物教諭。雨天時は1/27(日)詳細はおって通知します。

ならやま里山林プロジェクト12/15(土) 持ち寄りでも煮会予定。雨天時は12/20(木)奈良・忍辱山森林整備作業11/15(木)・12/13(木)

編集担当：勝田 均

TEL&FA

【当会の行事における傷害事故等については個人負担とし、当会は賠償等一切の責任は負いません】

奈良・人と自然の会事務所

会長 川井 秀夫